

新聞掲載記事より

子どもの夜間診療

【質問】二児の母です。私の町の病院の小児科がなくなり、子どもの夜間診療が廃止されて困っています。どうにかならないのでしょうか。(36歳・主婦)

消える中小病院の小児科



にとっては大変困る問題です。そこで、本県では小児の夜間救急体制が手薄になった地域の医師会が中心となつて、初期診療を行う「小児

【回答】全国的に医師が

不足し、病院の廃業、産科や小児科などの病棟閉鎖が相次いでいます。救急医療

県内の病院に必要なだけ小児科医を供給できなくなつて

しくなっています。このため、重症患者や救急医療にも十分対応できる態勢を築こうと、中小病院

「救急センター」が設立されています。以前からセ

ンターを稼働させていた長崎市に加え、ここ二、三年の間は大変勇気のいることで

も例外ではありません。マスコミ報道によると、全国

の二次救急外来（入院や手術が必要な患者を対象にした救急外来）がこの二年間

で百七十四カ所（4・4％）減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

本県でも小児科医は不足

しており、大学の医局から

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

減つたそうです。

一方、地域の中核病院でも小児科医が不足しており、重症患者を治療したり

高度な医療を行うことが難

院が消えることは地域住民

が軽症の患者さんを引き

地域で「救急センター」開設

受けることにより、地域住民の安心はもとより、小児科勤務医の負担軽減に大いに寄与しています。小児夜間救急センターの医師は通常、地域で開業している小児科医が担当しますが、大村市の場合は小児科以外の医師が数多く参加しているのが特徴です。他の診療科の開業医が小児の夜間診療に参加することは、大変勇気のいることです。その点で、大村市の試みは特筆すべきことです。本県には小児科の開業医が少ない地域が多くあります。これらの地域でも大村市と同じ方式で小児夜間救急センターが設立されることが期待されます。(県医師会)